

シリーズ 最終回

白鳥の歌

生命を育む大地

文・写真 岸谷 英雄

診療所だより

第四一八号（3月号）

発行 医) 宏友会
上田診療所
酒田市上野曽根
字上中割73番地
TEL0234-27-3306
責任者 矢島恭一



白鳥さんたちがシベリアに帰った昨年4月にはじまったこの掲載も、今回が最終回となりました。

これまで厳しい自然環境の中で毎日を懸命に生きる白鳥さんや、家族や仲間同士の絆について書いてきました。この最終回が発行される頃には、昨年の秋にやってきた白鳥さんたちの北帰行も随分すすんでいるだろうと思います。また彼らが帰ってくる秋まで、しばしのお別れです。

僕にとつては、これからシベリアに帰れなかった白鳥さんを見守る新たな一年の始まりです。連載第2回目で取り上げた、土門拳記念館の白鳥池にやってくる一羽の白鳥さんはまた来るでしょうか。あの白鳥さんは毎年、他の白鳥さんたちがシベリアに帰った3月下旬にやってくるのです。もうじきあの子に会えるのではないかと楽しみにしています。



傷ついて昨年の春からずっと最上川で生きている3羽の白鳥さんは、今も仲良く過ごしています。みんな今年の秋に帰ってくるお仲間と再び会えるよう

に、無事を祈りながら見守る季節です。

私たちの故郷が、白鳥さん達にとつても豊かな大地、故郷であるという事を、白鳥さんたちから教えられたように思い、第一回目のタイトルを「豊穡の大地」としました。また、白鳥さんたちの家族、仲間を想う姿、その日その日を一生懸命に生きる様に、「生きること」の本質、「生命の尊さ」も教えられたように思います。

気候が変わり、世界各地で洪水、干ばつ、猛暑、寒波など、人にとつても白鳥さんにとつても、生きていく環境は厳しさを増しているように思います。私たちの住むこの故郷が、これからも豊かな生命を育む大地であり続けることを願わずにはいられません。

最終回を迎えて

一年間、この連載におつきあいいただき大変ありがとうございました。白鳥さんたちはそれぞれ個性があつて家族、仲間を思いやる一羽一羽が大切な生命です。白鳥さんたちをこれからも優しく見守っていただければと思います。



シリーズ「ふるさと」

その170 ふるりの秀才

「これを読まない者は学生ではない」と言われた本に「三太郎の日記」(大正3年発行)がある。青春のバイブルと言われたこの本の著者は旧松山町出身の哲学者「阿部次郎」である。明治37年に東京大学哲学科に入学し、大正12年には東北帝国大学教授で「美学」の講義をしている。



ふる里で秀才の誉れ高い人物として阿部次郎兄弟が挙げられる。次郎は明治16年に8人兄弟の次男として生まれた。兄弟のうち4人が大学教授である。阿部余四男(動物学者。広島大学教授)、阿部(竹岡)勝也(日本文化。九州帝国大学教授)、阿部六郎(独文学。東京藝術大学教授)、長男阿部

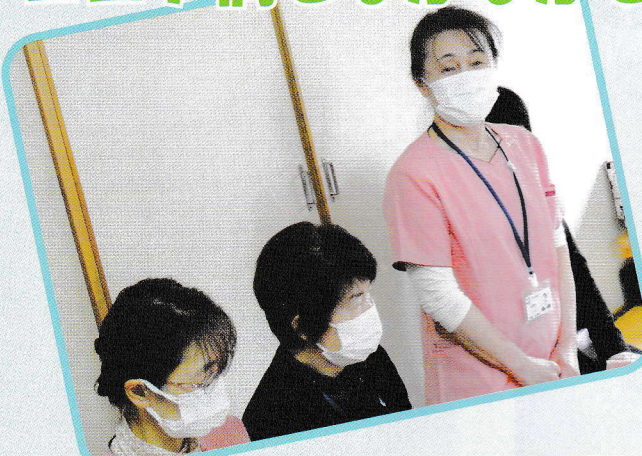
一郎(山形県農業技師)その息子は阿部襄(山大学部教授)である。

次郎の父富太郎は教員で、県の視学官(指導主事)だった。母「ゆき」は祖母「わか」の妹で、姉妹関係にある。勤務地の関係で両親が留守にする機会が多いため、祖母のわかのが兄弟を養育していた。わかのは昔話やキリストの話などを熱心に語ってくれたようだ。わか

の教育目標は子どもの得意分野を伸ばす英才教育だった。兄弟の専攻から見ても動物や芸術など多分野にわたっている。阿部記念館が松山小学校の脇にあるので訪ねてほしい。

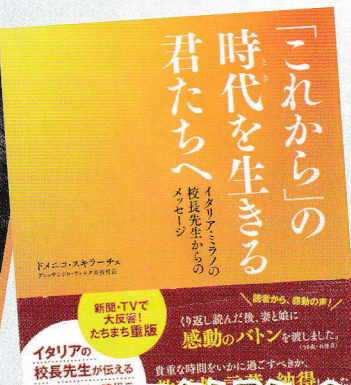
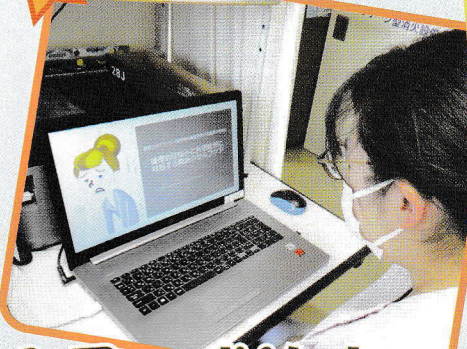
(庄内 平也)

コロナ禍でなかなかできなかったフキ歓迎会☆



これからもよろしくお願いします!

ホッ トリ ヌー ス



1月 感染症について勉強会

マスクの着用について

国から様々な方針が出ておりますが、当方では当面の間感染予防のため、来所される際に引き続きマスクの着用をお願いしております。

1泊入院とラジオ

矢島 恭一

2月の土・日1泊で入院してきました。これで入院は3回目。

今回は新しい利尿剤を使うため、新発売後10年近くなのに、服薬を開始するときは入院して開始することという規則になっているのです。

私も息切れなど日常生活に支障を来す生活が続いてきたので、主治医からこの内服薬の使用を提案されたときは、すぐに同意。仕事のことを考え、Xデーは、土曜日の夕方から日曜日の午前中で敢行されたのでした。

こちらは、最初から休養を兼ねての入院のつもりでしたので、着替え洗面用具の他、本とパソコン、その充電器をリュックに詰め込み循環器の病棟へ。

備え付けのテレビは観ないだろうと予想していましたが、2日間ともパソコンを病院のフリーのWiFiに接続して、ラジオとパソコンにダウンロードしてある音楽だけを聴いて過ごしました。

先月号にも書きましたが、今年になつてからテレビの映像は疲れるので、ほとんどラジオの音声だけを楽しんでおります。

しかも生放送は、車の運転中だけ、その他の時間帯は、NHKらじらじるの聞き逃し配信（本放送から1週間配信がある）で聴きます。

これが私にとっては至福の時、ベッドに入って音楽を聴きながら、自然に眠りに落ちるときは、体の調子がすこぶる良いとき。いつまでも眠れないときは、調子の良くないと

きて、翌日寝不足感が残ります。

以前眠れないときは、「ラジオ深夜便」をお勧めしたことがありましたが、言葉が挟まると聴き入ってしまい本当に眠れなくなってしまう。どうしても眠らなければならないうときは、聴かないようにしています。

金曜日9時5分からの「飛ぶ教室」高橋源一郎風に自分が一番ラジオに熱中していた時代はいつかを振り返ると、やはり高校時代かな。この頃は、テレビは一家に1台、ラジオは、一人1台持てる時代になりつつありました。現代語でいうと携帯電話やパソコンのようなパーソナルデバイスです。



午後11時台の大学受験講座を聴いたあと、深夜放送を聴く。グループフォークソングブームの絶頂期で、英語の歌詞を憶えたものです。

ところどころにニュースが挟まる。朝刊より新しい情報を得たものでした。

私が高校時代まで過ごした家は、前に豆腐屋さんがあり、深夜0時頃から製造が始まり、3時頃になると自転車の売り子さん方が集まり、ひととき賑やかになり、その後静寂が訪れるという日常でした。

この生活が今思うとラジオの深夜放送と重なりとても懐かしく感じます。

そして大学生時代や医師になつてからは、ほとんどラジオは聴けなかつたし、比率でいうと完全にテレビの時代でした。

歳を取つての最近の様子は、前述のようになるわけですが、この先もパーソナルという意味では、ラジオが主流になるであろうし、今のようには放送サービスが続く限り、愛好者は増えるのではないのでしょうか。

因みに私は、朝5時頃からラジオを点けっぱなしで、タイムキーパーの役割を与えている。

その中に視聴者からのコメントが挟まるが、これがなかなか面白い。「うんうん」と大きく頷いたり、「なるほどそんな考え方もあるのか」と唸ったり、最近では気象予報士が音楽を選曲するコーナーもある。

最後になぜこの曲を選んだのかという種明かしもあったりで楽しいのです。

私自身は、朝の放送を聴きながら、いい気分になつて一日がスタート出来ると1日中笑顔で過ごせそうな気がします。ラジオにはそんな力があるのです。

子どもたちの

さくひん

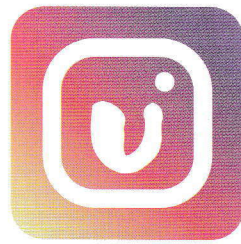
北平田保育園



▶おばあちゃん作の布草履。
愛用しています♥

▶「アップルパイ食べたい！」息子の
リクエストにお母さん頑張りました！

vestagram



ヘルパー
富樫 絵美



職員が撮ったお気に入りをご紹介します★

2月号の答え

- ①8
②8 でした！

富山市在住の土田芳男さんより
届いた絵手紙をご紹介します。



絵
手
紙

今
月
の

成
心
立
言

頭を柔らかくして
考えてみましょう！

答えは来月号です♪

☆左の図はある四字熟語の漢字がバラ
バラに分けられたものです。
分ける前の四字熟語は何でしょうか？

脳
ト
レ
ア
タ
マ
の
体
操

脳
ト
レ



ほ
ほ
が
え
み
し



胃カメラの検査をするMさ
ん。心配で、夜は眠れなかつ
たと言っていた。検査が無事
に終わると、安心した様子。「今
日はゆっくり眠らいる」と笑
顔で帰られた。
(恵)

お知らせ

※**新型コロナウイルス検査**(抗
原検査・遺伝子検査)できます。
検査をご希望の方はスタッフ
までお声がけください。
予約は電話にて可能です。

※**異動の多い時期**になります。
住所や電話番号・保険証等に
変更がありましたら、受付ま
でお知らせ下さい。

編集後記

春を告げる北帰行の時期
に、白鳥の歌が最終回を迎え
ました。このシリーズを通し
て白鳥さんたちについてたく
さん教えていただきました。
一年間温かい文章をお寄せく
ださった岸谷さん、本当にあ
りがとうございました。

(阿部)